

焼却灰運搬業務委託仕様書

1. 目 的

本業務は、門真市クリーンセンターから発生する焼却灰及びばいじん処理物（飛灰）を車両で指定された場所まで適切に搬送し、指示された場所へ降ろすことを目的とする。

2. 委託名

焼却灰運搬業務委託

3. 委託場所

門真市深田町19番5号

門真市クリーンセンター（以下「クリーンセンター」という。）

4. 委託期間

令和8年6月1日から令和9年5月31日まで

5. 搬送場所

【令和8年6月1日～令和9年3月31日】

大阪府大阪市西淀川区中島2丁目10番100号

大阪湾広域臨海環境整備センター大阪基地（以下「大阪基地」という。）

【令和9年4月1日～令和9年5月31日】

大阪府堺市西区築港新町4丁4番

大阪湾広域臨海環境整備センター堺基地（以下「堺基地」という。）

※本契約期間において、5回程度、受入廃棄物に係る検査のため、堺基地へ搬入予定あり。

※大阪湾広域臨海環境整備センターの指示により搬送場所が変更される場合あり。

6. 排出予定量（本契約期間において）

焼却灰及びばいじん処理物（飛灰） 約4,900トン

※予定量は排出状況等により増減することがあるため保証するものではない。

7. 搬送回数及び人数

搬送回数については、排出状況等により1日当たり1回～6回と変動するため、本業務

に必要な人数を配置すること。

8. 搬送経路

【大阪基地】

最寄の高速道路経由→ 阪神高速道路湾岸線

【堺基地】

阪神高速大和川線→阪神高速湾岸線（出島出口）

→大阪臨海線→堺市道臨海1号線

※大阪湾広域臨海環境整備センターの指示により搬送経路が変更される場合あり。

9. 搬送日

搬送日は、原則として月曜日から金曜日及び大阪基地及び堺基地の受入可能日とする。

なお、大阪基地及び堺基地の休業日及び天候等の事情で受入出来ない日は除くものとする。

10. 搬送用車両

- (1) 車両は、大型ダンプトラック（10 t 程度）で、大阪基地及び堺基地の受入に適合する車両であること。

なお、車両は積込み場所及び灰クレーンの関係上、高さ3.5m以下の車両で、荷台の高さは3.3m以下であること。

- (2) 積載物の落下及び飛散防止のために、荷台の全面を覆うことができる車両（全面を覆うことができるコボレーン車）の使用又は全面シートカバー等で覆蓋すること。
- (3) 台数は、搬送用車両及び予備用車両を合わせて4台以上保有すること。なお、車両登録可能な台数は最大10台までとする。
- (4) ダンピングできる車両（観音開き・片開きは不可）で搬入すること。
- (5) 汚水等が流出しない構造であること。
- (6) 排ガス規制を遵守し、可能な限り低公害車を使用すること。
- (7) 指定されたステッカーを車体の前面及び進行方向左側側面の2面に常時付けること。
- (8) 常に整備及びタイヤ、ボディの洗浄を行うこと。
- (10) 積込時以外のクリーンセンター内駐車は認めない。ただし、クリーンセンターが必要と認めた場合はこの限りでない。

11. 搬出

- (1) 発注者が受注者の運搬車両に焼却灰及びばいじん処理物（飛灰）を積込む際には、円

滑に積込みが行えるよう協力すること。積込み時間帯は8:00から16:00までとする。

- (2) 搬送用車両の積載制限重量を遵守すること。
- (3) 焼却灰及びばいじん処理物（飛灰）は、混載しないこと。
- (4) 年末年始を除き、毎週金曜日には5号炉灰ピットを空の状態にすること。
- (5) 搬送用車両の点検を必ず実施すること。
- (6) 焼却灰及びばいじん処理物（飛灰）を積込んだ後、センター内のトラックスケールにて発注者が発行するカードで計量を行うこと。
- (7) 計量の取扱いについては、担当職員の指示に従うこと。

12. 搬送時及び搬入時の注意

- (1) 搬送は大阪湾広域臨海環境整備センターに登録した車両にて行うこと。
ただし、大阪湾広域臨海環境整備センターからの依頼により、他の場所へ搬送を依頼された時は、担当職員と協議の上、実施すること。
- (2) 搬送物が落下した時は、直ちに回収し清掃すること。
- (3) 指定された搬送経路を通行すること。
- (4) 焼却灰及びばいじん処理物（飛灰）の排出状況を踏まえ担当職員等と協議の上、搬送計画を立てること。
- (5) 担当職員から搬送回数等の変更を依頼された時は、これに協力すること。
- (6) 常に安全運転を心掛けること。

13. 受注者の負担

- (1) 搬送用車両及び燃料費は受注者の負担とする。
- (2) 一時的に他の基地へ搬送を依頼された場合及び大阪湾広域臨海環境整備センターの受入基準等に適合せず搬入出来なかった場合など、搬送や引き取りにかかる諸費用は受注者の負担にて対応すること。
- (3) 受注者の過失等にて、クリーンセンター内の施設及び設備を破損等した場合は、速やかに担当職員に報告し、受注者の責任において原状回復すること。
- (4) 長時間の大阪基地及び堺基地の閉鎖時（連休及び年末年始等）においては、クリーンセンター内において灰の移動及び積み替え等を指示することがある。これらの作業に係る諸費用は、受注者の負担にて対応すること。

14. 委託料（毎月の委託料請求）

堺基地から発行される受入伝票に記載された受入重量に基づき、請求を行うものとする。

15. 関係法令等の遵守

業務の履行については、道路交通法、各種関係法令及び大阪基地及び堺基地の廃棄物搬入要領等を遵守すること。

16. 契約終了時

新たな受注者が当該業務を円滑に行えるよう誠実に引継ぎを行わなければならない。

17. その他

本書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、発注者と受注者の両方で協議して定めるものとする。